

「公園マネジメント会議 第3回コア会議」結果概要

日時 令和元年 11 月 28 日(木) 14:00～16:00

場所 地球市民交流センター 多目的室 4

前回のふりかえり

(報告)

- ・第2回コア会議のふりかえりで、①今年度に取り組む課題の確認 ②抽出した課題に対応したスケジュールの確認 ③【課題1 分科会制度の見直し】の協議内容と解決策 ④解決策を反映した分科会活動の流れ…について事務局より報告があった。

(質疑・意見交換)

- ・特に意見なし。

討議:【課題:特権の取り扱いの再整理】に対する解決策を協議する

- ・【課題2】特権の取り扱いについて、地球市民交流センターの先行予約において「マネジメント会議の活動のために使われていない」「自分たちの団体活動のための利用となっており、会員と会員以外での取り扱いの違いに不公平感がある」などの意見があり、これらの取り扱いを再整理する必要がある。現状の取り扱い①～④に対する見直し(案)について協議し、解決策を決める。

<あるべき取り扱いとは?>

特別な取り扱いの“本来の目的”は!?

公園マネジメント会議は、総会やコア会議で協議、承認したことを実践までする。



実践活動に対して、マネジメント会員は、それぞれができる形で技術や力を出し合い協力する。



- ・ 県(公園管理者)及び指定管理者は、各分科会活動に、場所や備品を提供することで協力する。
- ・ 各会員は、各会員ができる方法の部分で協力する。

ちなみに、何に基づいて特別な取り扱い(公園施設の優先利用)ができるのか?

公園施設の優先利用は、「優先利用取扱基準」で“国又は県その他の地方公共団体が主催又は共催する行事を優先利用の対象”としている。

↓ 要するに

公的な利用に対して、優先している。

↓ これを準用して

公園マネジメント会議の活動は、“公共性が高く、公園にとって良い活動”のため、公的な機関が実施する行事と同等に扱うことができる。

<公園マネジメント会議の実践活動しやすくするために必要な協力とは？>

県（公園管理者）及び指定管理者が行う協力

【現状の取り扱い ①】

分科会活動は、施設の優先予約ができる。（内容や場所など調整が付いた場合に限る）

【取り扱いに対する対応】

- ・内容により、管理事務所と相談して対応している。
- ・暗黙のルールで、「優先利用取扱基準」の愛知県が主催及び共催する行事を準用しているが、その際に必要な申請書類は出していない。

【“本来の目的”に対する効果】

- ・分科会の活動場所を提供できており、“本来の目的”に対して効果あり。
- ・ただし、暗黙のルールではなく、みんなが共有しているルールにする。

【見直し（案）】

- ・取り扱いの見直しは、無し。
- ・ルールを「活動の手引き」に追加する。

（質疑・意見交換）

- ・特に意見なし。

（協議結果）

- ・現状の取り扱い①に対する【見直し（案）】の内容について満場一致で承認された。



【現状の取り扱い ②】

会員は、地球市民交流センターの先行予約ができる。(12ヶ月前から予約できる)

【取り扱いに対する対応】

- ・会員が自分たちの活動での利用が多い。
- ・「地球市民交流センター施設利用案内」にマネジメント会員が講座等を開催する場合に適用できる記載がある。

【“本来の目的”に対する効果】

- ・マネジメント会議で承認した活動だけでなく、会員の活動で先行予約できることになっているため、“本来の目的”とは異なる。

【見直し(案)】

- ・取扱対象を、全ての会員から分科会活動に見直す。(団体の個別な活動は、パートナー登録制度での先行予約(6ヶ月)を利用する。)

(質疑・意見交換)

- ・特権があることが第一優先という考えではなく、公園のために努力できることは何かを一番に考えてほしい。いつからか優先順位が違ってきて、それが当たり前になってきたところがある。今回の整理は非常に有効な話である。
- ・マネジメント会議は立場も違う人が一緒になって考えることで、自分では越えられない壁を他の人の立場を借りたり、助言によってクリアできるのが最大のメリットである。
- ・【都市整備協会】パートナー制度は今までと変更ないので、取扱対象を分科会活動に見直した場合、団体(マネジメント会員)の個別な活動は、12ヶ月前からの予約はできなくなるが、パートナー登録をすればパートナー登録制度での先行予約(6ヶ月)を利用することができる。
- ・個の団体が全くできなくなるのはさみしい。分科会に登録するとなると時間がかかる。イベント等何をするにも場所は非常に大切な要素なので、個の団体でもコア会議で承認を得られればよしとするといった条件付きにした方がよい。個の団体がどう使っているのか情報がないから、今回のような不満がでてきているので、コア会議や総会等、何らかの形で情報開示するとよい。
 - どういうケースが当てはまるか考えた場合、例えば、モリコロパークの昆虫調査といった1年の四季の移ろいで調査が必要な場合に、発表の拠点ということで1年分押さえるような年間通してやる必要がある時には12ヶ月前からというのも分かる。
 - 過去にもあったが、マネジメント会議でどういう活動をしたらいいか、ワークショップ等が出た話も、いざやろうとなった時に残ったのは1団体だけということが多かった。分科会にしても結局集まらないし、承認を得るにも時間がかかる。
 - 分科会として処理できるのが一番スムーズではあるが、結果的に分科会という制度をとらない可

能性もゼロではない。分科会活動に相当する活動をどうするか…。

→これまでの分科会は立ち上げて崩せなかったため、立ち上げるのが大変であった。みんなで手を取り合ってやりましょうという前提があったが、上手くいかず、実際は単独になってしまっている分科会もある。もう一度、コア会議で分科会が活性化できるようルールづくりをしっかりとしたい。その中で優先利用も進められるとよい。個の団体が承認を得るには、どの活動の予約がOKなのか判断が難しい可能性がある。

→マネジメント会議の仕組みを複雑にするよりは、どうしたら使い勝手の良い分科会になるかを考えた方がよい。

→前回までの議論で、活動報告・活動計画がある分科会活動にしようというところまでは承認されているので、使い勝手の良い分科会活動として改善していくという調整も含めて、原案通りとさせていただきます。(取扱対象を全ての会員から分科会活動に見直す)

→分科会だと複数以上の会員が必要であるという認識があり、立ち上げるのにハードルが高かった。そのため、個々の活動でも報告をして、情報を共有すれば入りやすい方も出てくるのではないかと。

→分科会にしなくてもいいルールをつくるよりは、分科会を立ち上げてもらった方が…。個の団体であっても実際は、整備協会さんや愛知県さんが関わっての活動になる。そうすると三者になるので、個の団体ということはあるまいと思う。

→分科会は複数の団体が関与していれば調整にも時間がかかる。個の団体の活動であれば、整備協会が関与しなくてもパートナー登録制度での先行予約(6ヶ月)を使えばスムーズに物事が進む。

・【都市整備協会】 マネジメント会員の皆さんには、自分たちの活動を通じて公園の利用促進を図っていただいていると思うが、公園の利用促進のために、大きなイベントを誘致することがあるが、そのイベントの会議よりも前に予約をされたりすると、大きなイベントを調整することが難しくなってしまう、利用促進の観点ではマイナスになってしまうことも考慮していただきたい。

→たくさん利用してほしいということだけでなく、公園の魅力増進も欠かせないと思っている。

→そういうのも含めて情報共有が必要ではないか。1年先、2年先の大きなイベントを考慮し、その情報を得ながら我々も受け入れて、何かできるような…。

→情報公開しにくいと思う。主催者がリリースする前に、皆さんに情報が流れることはないと思う。

→おっしゃる通りである。了解が得られるものばかりではない。台帳上、施設が空いている・空いていないという問い合わせには返答できるが、何のイベントでどこが主催者といったことには答えづらい。



・現状の取り扱い①も②も残して、②を条件付きにしたい。年4回あるコア会議で活動内容が承認され、情報公開をした方が納得も得られやすい。

→②を分科会活動に見直すのは難しいのか？

→分科会は時間がかかるし、結局はひとりになってしまう。

→大きな問題と小さな問題が入り組んで、わかりにくくなっている。整備協会さんや個々の会員さんの立場ではこうなんだよという話し合いができたこと自体はすごくいいことだと思うが、このままだと收拾がつかないので、一旦整理が必要である。

→条文にするとはっきりする。

→取扱対象を全ての会員から分科会活動に見直すことを原案とするが、分科会活動ではなく、個別の団体がコア会議で承認を得た場合の但し書きも残す必要がある。

→取り扱い①と②に分けている現状をひとつにルール化したらどうか。

→予約の承認の際に、内々の会議であったとしても、内容の確認は行っているのか。

→予約のキャンセルに関しては、ルールをきちんとすべきである。

→①の優先利用取扱基準というのは、基本的に運動施設…ネットあいちの予約対象施設に当てはめている。地球市民交流センターの予約とは別で考えていただきたい。

・実際に地球市民交流センターで活動されている「いだけ竹とんぼの会」のワークショップにおいて、先行予約が12ヶ月から6ヶ月になった場合の影響を教えてください。

→月に1回程度、土日のどちらかで活動しているが、自由がきく人が多いので臨機応変にやる気持ちでいる。

・ここしばらくの会議を見て感じたことだが、新しい会員さんで積極的に活動している方と、もともと活動を続けてきた方との摩擦というか、「最近はどうだった」と通してしまいたい意見と、「もともと万博の理念があるからこうなんだ」という見えないところでの対立があり、上手く物事が進まないことがある。何回も会議を積み重ねてもその溝があるので、なにかギクシャクしてしまう。せっかく集まっているのに、対立して話をしている部分が見受けられるのは悲しい。万博の跡地である公園だが、ここから未来に向けてどういっかを考えて、公園の利用者や公園の未来について必要なことを話し合ってほしい。せっかくの時間を有効に使ってほしい。

→ギクシャクとか溝があるという言葉は悲しい。今、イベント企画実行委員会では、互いの違いからくる溝を超えて一緒にやっていくことで、私たちは変わろうとしている。溝があるとしたら溝



を超えて、お互いに歩み寄るような連携が、このマネジメント会議で確認できたらいいなと思っている。

- ・分科会は難しいというイメージがあるので、「そうではないよ。誰でも入れるよ。スタートは会員ひとりだけでもいいんだよ」というところから広げていくことが大事である。

→今の発言は取扱対象を分科会に絞っていいということか？

→そうである。個の団体でもコア会議で承認されれば、分科会同等とする提案は撤回する。

(協議結果)

- ・分科会の運用をより参加しやすく、また会員同士の関係性を密にすることが我々の努力義務として課されつつ、基本的に原案通りで、現状の取り扱い②に対する【見直し(案)】の内容について承認された。



【現状の取り扱い ③】

分科会活動は、公園管理事務所のコピー機を無料で利用できる。(年間白黒 100 枚、カラー50 枚を上限)

【取り扱いに対する対応】

- ・利用されていない。→知らない。
- ・ルールブックに基づき「活動の手引き」に記載あり。

【“本来の目的” に対する効果】

- ・分科会の活動に協力する内容だが、知られていないことから、効果なし。

【見直し (案)】

- ・取り扱いの見直しは、無し。
- ・会員で情報を共有する。特に分科会の代表者には案内する。

(質疑・意見交換)

- ・特に意見なし。

(協議結果)

- ・現状の取り扱い③に対する【見直し (案)】の内容について承認された。



【現状の取り扱い ④】

分科会活動は、公園管理事務所で備品を無料で借りられる。(ただし、内容や場所など調整が付いた場合)

【取り扱いに対する対応】

- ・内容により、管理事務所と相談して対応している。
- ・ルールブックに基づき「活動の手引き」に記載あり。
- ・手引きの運用（貸出申請書）がされていない。

【“本来の目的”に対する効果】

- ・分科会の活動に必要な備品を提供できており、“本来の目的”に対して効果あり。

【見直し（案）】

- ・取り扱いの見直しは、無し。
- ・「活動の手引き」に記載のある貸出申請書の提出を徹底する。

(質疑・意見交換)

- ・【都市整備協会】 有料施設である体育館の卓球台や地球市民交流センターの机等を屋外で使用する場合には、貸し出せない場合もある。事前に相談しながらの対応とさせていただいている。運搬、設置、撤去は、基本的には各分科会で行ってもらう。屋外での使用マナーや運用ルールも明文化していただきたい。(例：屋外での使用後には雑巾がけをして返却。キャスター付きの机を屋外へ運ぶ際は持ち運ぶこと。等)
- ・県や整備協会の担当は順次代わるので、明文化したマニュアルに加えて、申し送り事項が大事になる。会員さんとのコミュニケーションがとれることで、良く使おうという気持ちになるし、色々な事が円滑になる。

(協議結果)

- ・現状の取り扱い④に対する【見直し（案）】の内容について承認された。



会員情報(分科会活性化プロジェクト)

(報告)

- ・万博サンバフェスティバル分科会より活動の報告があった。

(活動報告)

- ・モリコロパークで開催された「シャララ万博カーニバル」を映像で紹介。
- ・4年前に管理事務所長の水野さんより依頼があり、万博理念継承をコンセプトにした公式ソングを製作したことから始まった活動も、今年8月で3回目を迎えた。
- ・音楽を通じて、普段交流のない人たちがコラボレーションすることで、新しい交流やストーリーを生み出している。ステージに上がる人、スタッフとして関わる人などが交流することを大事にしている。
- ・来年、6～7月には名古屋市や刈谷市などでミニマムなものを計画しており、9月には集大成となるイベントをモリコロパークで開催予定である。
- ・皆さんもだと思うが、活動するにあたり予算の問題がある。今日は分科会として、皆さんには協賛金集めの告知のお手伝いをお願いできたらと思っている。質問、お問い合わせ等いつでも受け付けている。



評価委員の募集

(連絡)

- ・事務局より評価委員の募集についてスケジュールの案内があった。

連絡事項

(連絡)

- ・モリコロパークのクリスマス会の案内があった。

以上